

わが国で採択された生物多様性の世界目標「愛知目標」の達成及びポスト2020目標の議論に貢献します。

1. 事業目的

- ① 生物多様性分野への民間資金等の更なる動員に向けた調査・検討、自然資本会計の評価に関する検討・推進
- ② 名古屋議定書国内措置の実施
- ③ 生物多様性条約関連会合への専門家派遣及び日中韓3カ国会議の日本開催による新たな枠組みに関する検討

2. 事業内容

2014年の生物多様性条約締約国会議(COP)で愛知目標の中間評価が行われ、現在の施策のみでは、目標達成が困難であり、様々な分野における「主流化」を始めとした追加的な対応が目標達成のためには必須とされた。

また、今後は生物多様性分野の新たな世界目標である「ポスト2020目標」の議論も本格化する。今後、以下の取組を実施し、目標最終年である2020年での愛知目標の達成及びポスト2020目標の議論に貢献する。

- ・ 生物多様性分野に民間資金等の資源を更に動員していくための調査・検討
- ・ 遺伝資源の利用と利益配分（ABS）について定めた名古屋議定書の実施に向けた国内制度の構築・運用と、国際的な議論への貢献
- ・ 生物多様性保全に係る情報の公開状況に関する企業の動向や課題等の把握
- ・ ポスト2020目標全般に関する議論等、テーマ別会合への専門家の派遣、日中韓生物多様性政策対話の開催

3. 事業スキーム

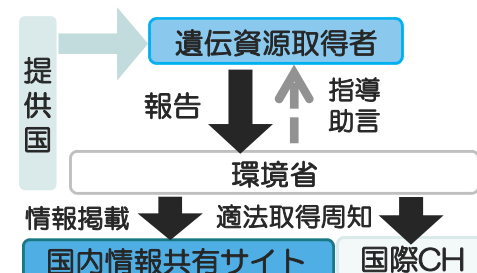
- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間団体等
- 実施期間 平成23年度～令和2年度（予定）

4. 事業イメージ

例1：生物多様性保全に関する認証制度の活用検討



例2：ABS指針概要（環境省）



例3：日中韓生物多様性政策対話等を通じた新枠組みに関する検討



過去に開催された会議の様子

年度	事業概要
R 2	①調査・分析結果の国際的な議論での活用、国内施策への反映 ②名古屋議定書の国内措置の実施 ③ポスト2020目標に向けた国際的な議論への貢献